



[畑・転換畑作部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

1. ビール大麦品種「スカイゴールド」の収穫適期を判断するチャートの作成

[要約]

立毛外観等からビール大麦品種「スカイゴールド」の適期収穫の開始時期を判断できるチャートを作成した。本品種の収穫開始適期は成熟期2日後で、その時の穂首角度は全体の8割が45°程度以上である。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 作物・経営研究室

[連絡先] 電話 086-955-0275

[分類] 情報

[背景・ねらい]

ビール大麦品種は適期に収穫しないと外観品質や発芽勢が低下するため、ビール大麦として出荷できなくなる。そこで、岡山県の奨励品種である「スカイゴールド」について、成熟に伴う立毛外観等の経時変化から成熟程度を判定でき、適期収穫の開始時期を判断できる資料を作成する。

[成果の内容・特徴]

1. 「スカイゴールド」では、成熟期2日後には千粒重、子実水分及び検査等級が収穫に適するようになる（図1、2、別紙）。また、その時の穂首角度は、全体の8割が45°程度以上である（図3）。
2. 成熟期3日前から成熟期4日後までの「スカイゴールド」の立毛外観、子実の外観及び子実水分等は、別紙チャートのように変化する。このチャートを用いると、立毛での芒（のぎ）や穂、茎葉、子実の外観から適切な収穫開始時期が推定できる。
3. 過去5年間の出穂期から成熟期までの日平均気温の積算温度は650℃程度である（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 成熟期は、醸造用大麦調査基準により、茎葉並びに穂首部分が黄化し、穂軸や粒は緑色が抜け、粒にはツメ跡が僅かにつき、ほぼ蠟（ろう）ぐらいの固さに達した粒をつける茎が、全穂数の80%以上に達した日とした。



[具体的データ]

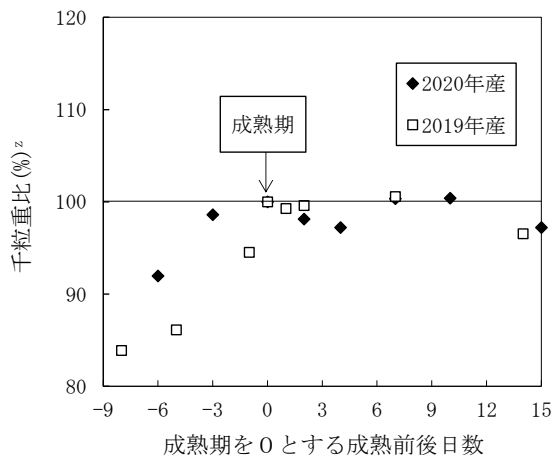


図1 大麦「スカイゴールデン」の成熟期前後の千粒重の推移

^z 成熟期の値を100とする比(%)

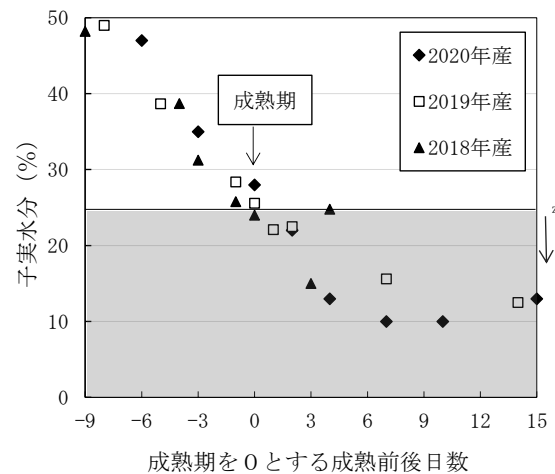


図2 大麦「スカイゴールデン」の成熟期前後の子実水分の推移

^z コンバイン収穫の適期は子実水分25%以下である

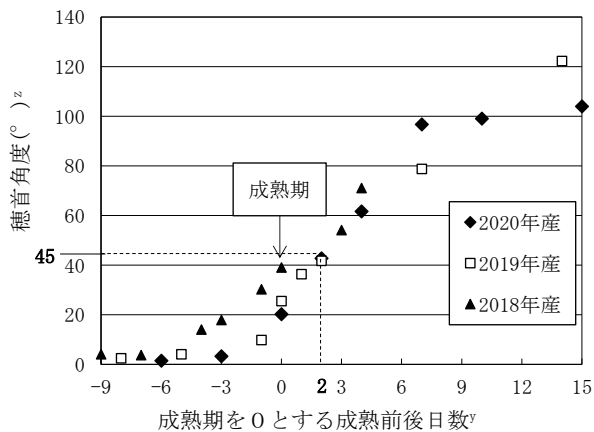


図3 大麦「スカイゴールデン」の成熟期前後の穂首角度の推移

^z 穂首節を頂点にした時の、穂軸と穂首節間の成す角度

^y 8割の穂が一定の角度以上となった時期を示す

表1 出穂期から成熟期までの日平均気温の積算温度

年産 (年)	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	積算温度 (°C)
2016	4月10日	5月20日	642
2017	4月16日	5月25日	663
2018	4月15日	5月25日	665
2019	4月8日	5月21日	662
2020	4月2日	5月18日	633
平均			653

[その他]

研究課題名：大規模水田経営に対応した効率的な麦作体系の確立

予算区分・研究期間：県単・平29～令元年度

研究担当者：金谷寛子、水田有亮

関連情報等：試験研究主要成果、[平25\(21-22\)](#)



スカイゴールド適期収穫開始チャート

成熟期 3 日前 子実水分：33% 穂首角度：約10～15° 等級：規格外 出穂からの平均気温の積算：約600℃ 芒は薄い褐色。穂は全体的に薄い褐色だが、一部の基部には緑色が残る。穂首節間は薄い褐色でやや弾力がある。穂首の湾曲はあまりない。粒は薄い褐色で、腹側に黄緑色が残るものもある。一部爪跡がつくものがあり、切断できる。	穂の状態  立毛状況  収穫直後  乾燥後 
成熟期 子実水分：26% 穂首角度：約30～40° 等級：大粒 1 等 出穂からの平均気温の積算：約650℃ 芒は薄い褐色で、穂はすべて緑色が抜けて薄い褐色である。穂首節間は薄い褐色でやや弾力がある。穂首の湾曲が始まり、全体の8割が30°程度以上。粒は薄い褐色で表面はなめらかで、爪跡がわずかにつき、蠟（ろう）程度の硬さで、切断できる。	   
成熟期 2 日後（収穫適期） 子実水分：22% 穂首角度：約45～55° 等級：ビール等外上 出穂からの平均気温の積算：約690℃ 芒、穂及び穂首節間は薄い褐色である。穂首の湾曲が目立ち、全体の8割が45°程度以上。粒は薄い褐色で表面はなめらか。爪跡がわずかにつき、ほぼ切断できない。	   
成熟期 4 日後（収穫適期） 子実水分：19% 穂首角度：約70～80° 等級：ビール等外上～ビール 2 等 出穂からの平均気温の積算：約730℃ 芒、穂及び穂首節間は薄い褐色である。穂首の湾曲が進み、全体の8割が70°程度以上。粒は薄い褐色で、腹側にはしわが目立つ。粒は硬く、爪跡がつかず、切断できない。	   

